

令和6（2024）年度みよし市食育推進会議次第

日時：令和6（2024）年6月24日（月）

午前10時から

場所：市役所3階 研修室1・2

1 委嘱状交付

2 あいさつ

3 議題

（1）第4次みよし市食育推進計画及びみよし市食育推進会議の概要について

資料：別紙1

第4次食育推進計画

第4次食育推進計画（概要版）

（2）みよし市の食育推進に関する取り組み状況について

資料：別紙2

（3）意見交換

みよし市食育推進会議委員名簿

役 職	氏 名	摘 要
会 長	村田 信光	副市長
委員	加藤 知子	みよし市教育委員会委員代表
	<u>蟹江 英紀</u>	あいち豊田農業協同組合代表
	小野田 加代子	みよし市農村生活アドバイザー代表
	小野田 勝輝	農業生産団体代表（果樹組合）
	雪江 恵子	食生活健康推進員会代表
	<u>野村 淳司</u>	商工会代表（食品部）
	<u>喜邑 友宜</u>	みよし市小中学校PTA連絡協議会代表小学校 （南部小学校）
	<u>廣瀬 徹</u>	小中学校教頭代表（三好中学校）
	林 晴子	保育園代表（すみれ保育園）
	<u>橋本 静治</u>	みよし市私立幼稚園協会代表 （東山幼稚園）
	<u>山岡 直子</u>	市立保育園父母の会代表 （城山保育園）
	<u>森下 朱里</u>	みよし市私立幼稚園協会母の会代表 （東山幼稚園）
	柘植 知則	愛知県立三好高等学校代表（教頭）
	新谷 千晶	NPO代表
	小川 雄二	学識経験者（名古屋短期大学教授）
兼平 奈奈	学識経験者（東海学園大学教授）	
増岡 庶	公募委員	

助言者	林 禎二	豊田加茂農林水産事務所 農政課長
助言者	<u>山本 由美子</u>	衣浦東部保健所 健康支援課長
助言者	近藤 貴子	栄養教諭代表（北中・学校給食センター）
助言者	野々山 紘美	保健師代表（保険健康課）

※アンダーラインは新規委員・助言者

令和6（2024）年6月24日（月）
令和6（2024）年度みよし市食育推進会議

第4次みよし市食育推進計画について

《 概 要 》

- 令和6（2024）年度から令和10（2028）年度の5か年計画
- 本計画は、食育基本法第18条第1項に基づいている
- 本計画では、第3時計画による取組実績と評価を踏まえて、令和10（2028）年度までに達成すべき数値目標を掲げ、さらに食育を推進していくこととした。

《 基本理念 》

食を通した 人づくり 健康づくり 環境づくり

《 基本目標 》

- 基本目標1 ～人づくり～ 食の大切さや楽しさが分かる心豊かな人を育てます。
- 基本目標2 ～健康づくり～ 食を通して、健康な体を育みます
- 基本目標3 ～環境づくり～ 食に関する環境を整えます

《 第4次計画の要点 》

1 基本施策とSDGsの17の目標を関連づけ、SDGsの達成に貢献する食育の取組を推進しています。（冊子P.40参照）



2 「基本目標3 ～環境づくり～ 食に関する環境を整えます」において、食を通したカーボンニュートラルの取組をとりまとめ、カーボンニュートラルの実現に貢献する食育の取組を推進します。（冊子P.69からP.73参照）

具体的な取組については、以下のとおりです。

- (1) みどり認定の推進
- (2) 「あいちエコ食スタイル 今日から始める20tips」の作成・配布
- (3) フードドライブ事業

3 アンケートの分析において、高齢者の食育に対する意識を認識するため、18歳以上69歳以下と70歳以上で分けて分析しました。

■令和6（2024）年度食育推進事業評価表

基本目標	基本施策	連番	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	令和5（2023）年度実績	令和6（2024）年度計画	備考
1（人づくり） 食の大切さや、楽しさが分かる心豊かな人を育てます	①食の正しい知識を身に付け、食に対する感謝の心を持つ豊かな人間性の育成	1	すくすく教室（離乳食教室）	こどもの成長に合わせた離乳食（作り方、食べさせ方）について理解してもらう	離乳食時期のこどもの成長と離乳食についての講話と試食、個別相談を実施する	こども相談課	生後7ヵ月児	毎月1回教室を開催。108人が参加。	毎月1回教室を開催。	
		2	園だよりへの食育記事の掲載・配布	食の大切さを伝えて関心を高める	行事予定の中に食育だよりを掲載し、規則正しい生活習慣や朝食をとる意義などを伝える	・保育園 ・幼稚園	園児	・給食及び園だより等を通じて指導した。（みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば、マーガレット、東山、桃山） ・毎月園だよりに管理栄養士による「食育だより」を掲載した。（ベル三好）	・園だより及び給食を通じて指導する。（みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば、マーガレット） ・毎月園だよりに管理栄養士による「食育だより」を掲載する。（ベル三好）	
		3	保育園の食育指導計画の作成	保育園における計画的な食育を進める	保育園に求められる食育指導計画書の作成と実践を行う	保育園	園児	・4～5月に年間計画書を作成し、実施した。（みどり、打越、明知、わかば） ・毎月の指導案に食育を取り入れ、実践した。（打越、城山、すみれ）	・4～5月に年間計画書を作成し、実施する。（みどり、打越、明知、すみれ、わかば） ・毎月の指導案に食育を取り入れ、実践する。（打越、城山、すみれ、わかば）	
		4	園児への食生活指導	食べることの基本的な知識を深める	絵カードを利用して食べ物の種類や栄養素の働きを知らせたり、食に関したクイズをしたり、歌を歌ったりする	・保育園 ・幼稚園	園児	・絵本や紙芝居や図鑑で、その特性や働きを学ぶ機会を作った。給食時にメニューや栄養素について、栄養士からの説明を、担任が伝えた。（みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば） ・毎日「ランチタイムニュース」と称して給食の時間に放送で全園児対象に管理栄養士による給食のメニューの説明や栄養素の働きを指導。（ベル三好） ・季節の野菜や果物を実際に見たり、育てたり、収穫する中で、食に対する知識や興味を高めた。（東山、マーガレット、桃山）	・絵本や紙芝居や図鑑で、その特性や働きを学ぶ機会を作る。 ・給食時にメニューや栄養素について、栄養士からの説明を、担任が伝える。（みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば） ・毎日「ランチタイムニュース」と称して給食の時間に放送で全園児対象に管理栄養士による給食のメニューの説明や栄養素の働きを指導する。（ベル三好） ・季節の野菜や果物を実際に見たり、育てたり、収穫する中で、食に対する知識や興味を高める。（東山、マーガレット、桃山）	
		5	園児への食生活指導	給食を題材に食に対する感謝の気持ちと、好き嫌いなくバランスよく食べることの大切さを知らせる	管理栄養士が各保育園へ訪問または園児の給食センター見学会を実施する	保育課	園児	なし	給食センター見学を検討する。（明知）	
		6	食作法	集団での食事、食事作法の教育を通し、食べることへの感謝、家族への感謝の気持ちを養う	食の正しい知識と、食に対する感謝の気持ちを持つことに関する指導を行う	幼稚園	園児	食の正しい知識・正しい食べ方・食に対する感謝の気持ちや、感謝の言葉を唱和したりして指導した。（ベル三好、マーガレット、東山、桃山）	食の正しい知識・正しい食べ方・食に対する感謝の気持ちや、感謝の言葉を唱和したりして指導する。（ベル三好、マーガレット、東山、桃山）	
		7	こどもたちの朝ごはん喫食状況の聞き取り調査	こどもの発達に重要な朝食の大切さを知らせる	朝食を食べたか、だれと食べているか、朝食の内容について何をどれくらい食べているかを把握する	・保育園 ・幼稚園 ・小中学校	・園児 ・小中学生	・学力・学習状況調査により、市内の小学校6年生と中学校3年生の朝食の喫食状況を把握した。（小中学校） ・3歳未満児はコドモン連絡帳にて状況を把握した。（みどり、打越、城山、明知、すみれ） ・園だよりや保健だよりで朝食の大切さの啓発や園児との会話・朝の会時に問いかけたりすることにより、朝食の大切さを伝えていった。（みどり、打越、城山、明知、すみれ、東山、マーガレット） ・園だよりで管理栄養士から食育だよりとして朝食の大切さの啓発。（ベル三好、桃山）	・学力・学習状況調査により、市内の小学校6年生と中学校3年生の朝食の喫食状況を把握する。（小中学校） ・3歳未満児はコドモン連絡帳にて状況を把握する。（みどり、打越、城山、明知、すみれ） ・園だよりや保健だよりで朝食の大切さの啓発や園児との会話・朝の会時に問いかけたりすることにより、朝食の大切さを伝える。（みどり、打越、城山、明知、すみれ、東山、マーガレット） ・園だよりの中に管理栄養士から食育だよりとして朝食の大切さの啓発する。（ベル三好、桃山）	

基本目標	基本施策	連番	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	令和5(2023)年度実績	令和6(2024)年度計画	備考
		8	わんぱく教室	2歳児の生活習慣・歯の健康、食生活の大切さを教える	2歳児とその保護者を対象に食に関する講話や個別指導を行う	こども相談課	2歳児とその保護者	隔月で開催。33組参加。	年6回(隔月)教室を開催。	
		9	いきいき子育て講座	親子で食物作りを通し「食育」の大切さを学ぶ	親子で食物作り等を通し、食が出来る喜びと食の大切さなどを学ぶ機会を提供する	幼稚園	園児と保護者	・収穫した野菜を持ち帰り、各家庭で調理してもらった。(マーガレット) ・年長児は収穫した野菜を調理し、すりばち、すりこぎを使った「ごますり」体験をし、使用した道具は家庭に持ち帰り、家庭でも体験できるようにした。(東山) ・園で実施した料理のレシピを家庭に持ち帰り、各家庭でも実施できるようにした。(桃山)	・収穫した野菜を持ち帰り、各家庭で調理してもらった。(マーガレット) ・年長児は収穫した野菜を調理し、すりばち、すりこぎを使った「ごますり」体験をし、使用した道具は家庭に持ち帰り、家庭でも体験できるようにする。(東山) ・園で実践した料理のレシピを家庭に持ち帰り、各家庭でも実施できるようにする。(桃山)	
		10	こどもの料理教室「わくわくからだ探検隊」	調理実習や講話等を通して自身の体についての興味と関心をもたせる	小学生を対象に調理実習や正しい生活習慣の講話、ブラッシング指導を行う	こども相談課	小学生	年に1回実施。調理実習を再開。8人参加。	年に1回実施。	
		11	食育出前授業・講演会	小中学生の食生活に対する関心を高める	食に関連した企業等から講師を招き、出前授業や講演会を行う	・小中学校 ・関係機関	小中学生	各校の年間計画に合わせて、食に関連した企業から講師を招いた出前事業を実施した。(小学校)	食に関連した企業から講師を招いた出前事業の実施。(小学校)	
		12	「いただきます」「ごちそうさま」あいさつ運動	あいさつは食に対する感謝の気持ちの言葉であることを伝える	給食時にあいさつや感謝の大切さを指導する	・保育園 ・幼稚園 ・小中学校	・園児 ・小中学生	年齢にあったあいさつの言葉をかえて、日常的に指導を行った。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、ベル三好、桃山、東山、マーガレット)	年齢にあったあいさつの言葉をかえて、日常的に指導していく。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、ベル三好、桃山、東山、マーガレット)	
		13	残菜の減量指導	食の大切さや感謝の気持ちをもたせる	残菜をなくすため、食に関する絵本や図鑑などを通して理解させる	・保育園 ・幼稚園 ・小中学校	・園児 ・小中学生	・栄養教諭による指導を実施した。(小学校) ・通年、日常的に指導した。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、マーガレット、桃山) ・管理栄養士の指導により、月ごとに残食の少なかったクラスを表彰。またそれを1年間で最多だったクラスを修了式で表彰。(ベル三好) ・食に関する絵本や紙芝居の読み聞かせを行い、食に興味を持たせたり、食と体の関係について知らせたりした。(東山)	・栄養教諭による指導を実施した。(小学校) ・通年、日常的に指導する。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、マーガレット、桃山) ・管理栄養士の指導により、月ごとに残食の少なかったクラスを表彰。またそれを1年間で最多だったクラスを修了式で表彰する。(ベル三好) ・食に関する絵本や紙芝居の読み聞かせを行い、食に興味を持たせたり、食と体の関係について知らせたりする。(東山)	
		14	家庭科での食育授業	食育授業を通して食の大切さや楽しさを学ぶ	食に関する絵本や図鑑などを通して食の大切さ、感謝の気持ちを育む	小中学校	小中学生	各学校の年間指導計画に位置づけて食育の授業を実施した。	各学校の年間指導計画に位置づけて食育の授業を実施する。	
		15	生産現場の訪問学習	生産者に対する感謝の気持ちを育む	農畜産物の生産者の現場を訪問し、農作業等の体験学習などを行う	小中学校	小中学生	各学校の年間指導計画に位置づけて農業体験を実施した。	各学校の年間指導計画に位置づけて農業体験を実施する。	
		16	田植・稲刈り体験	実際に田植・稲刈りを体験することにより、農家の苦労や農業の大切さを理解してもらう	農家やJA職員と一緒に田植・稲刈を実施し、収穫したお米をたべてもらう	JAあいち豊田	小学生	小学校から要望が無かったため、実施せず。	要望があれば実施する。	
		17	食育劇の上演の支援	自ら食育劇に取り組むことでバランスよく食べることへの関心を高める	食育劇の衣装、シナリオ等を上演希望する小学校等に貸し出す	・愛知県 ・保育園 ・幼稚園 ・小学校	・園児 ・小学生	なし。	食育劇の衣装、シナリオ等を上演希望する小学校等に貸し出す。	

基本目標	基本施策	連番	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	令和5(2023)年度実績	令和6(2024)年度計画	備考
		18	パパママ教室	妊婦への食生活指導を行う	食事バランスガイド等を活用した栄養指導や調理実習を行う	こども相談課	妊婦	年4回教室を実施。61人(夫26人含む)参加。	年4回実施(マタニティコース)	
		19	保護者勉強会・懇談会	家庭での食生活における相談や指導により、食べることの楽しさや大切さを知らせる	栄養士、保育士による偏食の工夫や対応方法について、グループ、個人の状況に合わせ指導する	子育て支援センター	園児の保護者	保護者からの問い合わせ、要望により実施。アレルギー説明会を事前に実施した。(ベル三好)	保護者からの問い合わせ、要望により実施する。アレルギー説明会を事前に実施する。(ベル三好)	
		20	保護者との食に関する相談	食べることの基本的な知識と常識的な営みを伝える	家庭と連携をとって食事指導を実施する	・保育園 ・幼稚園	園児の保護者	・アレルギー対応による給食の提供。年齢や発達に応じたきざみ食の提供をした。(みどり、打越、明知、すみれ) ・担任及び管理栄養士により随時保護者の相談を受けた。アレルギー対応による給食の提供をした。(ベル三好、マーガレット、桃山) ・担任及び園長、副園長、主任等が随時保護者の相談を受けた。保護者と連絡を取りながら、アレルギーの対応をした。(給食、おやつなど)(城山、わかば、打越、明知、すみれ、東山)	・アレルギー対応による給食の提供。年齢や発達に応じたきざみ食の提供をする。(みどり、打越、明知、すみれ) ・担任及び管理栄養士により随時保護者の相談を受ける。アレルギー対応による給食の提供をする。(ベル三好、マーガレット、桃山) ・担任及び園長、副園長、主任等が随時保護者の相談を受けた。保護者と連絡を取りながら、アレルギーの対応をした。(給食、おやつなど)(城山、わかば、城山、わかば、打越、明知、みどり、すみれ、東山)	
		21	食育講演会	こどもの保護者に食の大切さの啓発と知識向上を図る	食育に関する講師を招き保護者を対象とした食育の講演会を開催する	産業振興課	・園児や小中学生の保護者 ・市民等	R6.1/30に食育講演会「チーズセミナー～チーズを美味しく楽しむために～」(講師：雪印メグミルク株式会社食育担当者)受講者22名	食育に関する講演会を実施する。	
		22	家庭教育学級の開催	食育に関する学習を推進する	食育の学習の一環として給食の出来上がる過程や栄養バランス、料理の工夫等を学ぶ	・小学校 ・PTA ・学校教育課	小学生の保護者	給食試食会(6月中部小・7月黒笹小・10月南部小) カクキュー八丁味噌の郷見学(6月北部小)	家庭教育学級において、給食センターの視察及び給食試食会を開催する。	
		23	食生活健康推進委員会活動	健康な食生活の推進と日本食のよさの啓発等を行う	食事バランスガイド等を活用した調理実習や栄養教室等を行う	・食生活健康推進委員会 ・保険健康課	市民等	食事バランスガイドを活用したレシピを作成し、調理実習を含む教室を開催した。	食事バランスガイド等を活用した調理実習を含む教室を開催する。	
	②楽しい食事の場づくりの大切さの	24	給食を楽しむ環境づくり	みんなで食事する楽しさを五感を通して感じられるようにする	楽しい食事環境づくりとしてBGM、テーブルクロス、花、バイキング方式などの演出や工夫をする	・保育園 ・幼稚園	園児	・当番活動、給食交流を実施した。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば) ・バイキングパーティ(バイキング形式で給食を提供・異年齢児との食事)は、インフルエンザ流行の為にバイキング形式は中止。(ベル三好) ・ランチパーティ(同学年の他クラスとの食事)を実施した。(ベル三好) ・年長組はレストランごっこ(カレーパーティ)を実施した。(マーガレット) ・食育活動を通して、自分たちが関わり調理したものを食べる。また、ピクニックごっこをして昼食を食べた。(東山) ・全学年を通してカレー会と豚汁会を実施した。(桃山)	・当番活動、給食交流を実施する。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば) ・インフルエンザ等が流行していなければ、バイキングパーティ(バイキング形式で給食を提供・異年齢児との食事)やランチパーティ(同年代の他クラスとの食事)を実施する。(ベル三好) ・年長組はレストランごっこ(カレーパーティ)を実施する。(マーガレット) ・食育活動を通して、自分たちが関わり調理したものを食べる。また、ピクニックごっこをして昼食を食べる。(東山) ・全学年を通してカレー会と豚汁会を実施する。(桃山)	

基本目標	基本施策	連番	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	令和5(2023)年度実績	令和6(2024)年度計画	備考
③農作物の栽培や料理教室など体験型の学習や交流を通じた食への理解促進	周知	25	親子料理づくり	食物の大切さと親子で一緒に作る楽しさを伝える	園と父母の会、園児とで調理し食する	・保育園 ・幼稚園	・園児 ・保護者	・餅つき会を実施。(ベル三好、マーガレット) ・園で親子と職員でクリスマスケーキ作りを実施した。(ベル三好) ・保護者参加のお団子づくり、ゴーヤ調理、を実施。餅つき大会を実施した。(東山幼稚園)	・餅つき会を実施する。(ベル三好、マーガレット) ・園で親子と職員でクリスマスケーキ作りを実施。(ベル三好) ・保育参観にて親子でクッキングを実施済。(マーガレット) ・保護者参加のお団子づくり、ゴーヤ調理を実施。餅つき大会を実施。(東山幼稚園)	
		26	家庭への啓発活動	園だより、学校だよりなどにより食の楽しい場づくりを伝える	各家庭へ食育に関するたよりを発行する	・保育園 ・幼稚園 ・小中学校	園児・小中学生の保護者	・園だより等で食育について掲載した。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば、マーガレット、桃山、東山) ・管理栄養士による食育だよりを毎月発行。ホームページに給食レシピを掲載。(ベル三好)	・園だよりで食育について掲載する。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば、マーガレット、桃山、東山) ・管理栄養士による食育だよりを毎月発行。ホームページに給食レシピを掲載する。(ベル三好)	
		27	ノー残業家族夕食デーの啓発	家族そろって夕食を楽しむ	残業時間を短縮して、家族と一緒に食事をする機会を増やすよう啓発する	産業振興課	市民等	・事業所ごとで随時おこなった。市役所は毎週水曜日にノー残業デーを実施した。 ・食育月間である6月に市役所庁舎東側に懸垂幕を設置し啓発した。	・事業所ごとで随時おこなっている。市役所は毎週水曜日にノー残業デーを実施する。 ・食育月間である6月に市役所庁舎東側に懸垂幕を設置し啓発する。	
	28	園児の野菜栽培と収穫調理体験	野菜の栽培や試食を通して食の理解を深める	園児が野菜の植え付け、水かけ、草取り、収穫を行い、調理して試食する	・保育園 ・幼稚園	園児	園児による野菜の栽培、収穫体験、実食を実施した。(みどり、打越、城山、明知、わかば、すみれ、城山、ベル三好、マーガレット、桃山、東山)	・園児による野菜の栽培、収穫体験、実食を実施する。(みどり、打越、城山、明知、わかば、すみれ、マーガレット、桃山、東山、ベル三好)		
	29	こどものための食育活動(親子で料理)	調理実習を通して親子で食に関わることの大切さを理解する	親子の調理実習を実施する	・こども相談課 ・生涯学習推進課	・園児 ・小学生 ・保護者	春夏講座において、小学4年生から6年生を対象にした「わくわくからだ探検隊」を開催した。(生涯学習推進課)	春夏講座において、小学4年生から6年生を対象にした「わくわくからだ探検隊」を開催予定。(生涯学習推進課)		
	30	農作物の栽培体験	作物の栽培の大変さや食の大切さを知らせる	各校の小学校1・2年生が農作物の栽培体験活動を生活科の授業の中で実施する	小学校	小学1・2年生	各学校の教科等の年間指導計画に位置づけて農産物の栽培体験を実施した。	各学校の教科等の年間指導計画に位置づけて農産物の栽培体験をする。		
	31	中学生職場体験学習	食に関する専門指導や調理体験を通して食に対する理解を深める	中学2年生の職場体験学習で、給食や外食産業料理ができるまでの過程を実習する機会を提供する	中学校	中学生	給食センターへは希望のある学校の受け入れを実施した。その他外食産業も希望に応じて職場体験を実施した。	給食センターへは希望のある学校の受け入れを実施する。その他外食産業も機会があれば職場体験を実施する。		
	32	小学生の農林漁業体験学習の推進	農林漁業体験を通じて、食や農林水産業に関する知識を身に付ける	学校での農林漁業体験学習に係る講師を派遣する	愛知県	小学生	なし。	みよし市管内小学校からの依頼により、農林漁業体験学習に係る講師を派遣する予定。		
	33	援農ネットみよし事業	持続可能な農業の実現や市民参加による農業の振興を図る	農業研修、営農相談事業を実施し、就農に向けた支援を行う	さんさんの郷	市民等	「農業ふれあいコース」受講者20人 「就農者育成コース」 1年過程：受講者6人 2年過程：受講者3人 月2回の営農相談事業を実施	「農業ふれあいコース」募集20人 「就農者育成コース」 1年過程：募集10人 2年過程：数人 月2回の営農相談事業を実施		

基本目標	基本施策	連番	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	令和5(2023)年度実績	令和6(2024)年度計画	備考
		34	J A食育料理教室	地元食材を利用した料理を伝える	地元でとれた旬の食材を利用した料理を試作し、レシピを産直センターで紹介する	JAあいち豊田三好女性部	・J A女性部員 ・市民	食育・地産地消をテーマにレシピを考え地元の食材を使って家庭料理教室、みそ作りを楽しく調理できた。	食育・地産地消をテーマにレシピを考え地元の食材を使って家庭料理教室を実施する。	
		35	高齢者料理教室	料理実習を通じて食生活の大切さを再認識する	高齢者向けの料理教室を開催し、食習慣を見直す	生涯学習推進課	市民等	・秋冬、新春講座において、シニアを対象にした「自分のための幸せごはん」を開催した。(生涯学習推進課)	・春夏、秋冬、新春講座において、シニアを対象にした「自分のための幸せごはん」を開催予定。(生涯学習推進課)	
		36	野菜づくり講習会	野菜作りを通して農作物への理解を深める	野菜の栽培管理方法についての講習会を開催する	さんさんの郷	市民等	5/14(第1回)13名が参加し、ピーマン等の夏野菜の講習を行った。9/18(第2回)11名が参加し、大根等の秋冬野菜の講習を行った。3/4(第3回)9名が参加し、ジャガイモ等の春野菜の講習を行った。	5月(第1回)、9月(第2回)、2月(第3回)の年3回を予定 第1回は夏野菜、第2回は秋冬野菜、第3回は春野菜が対象	
		37	市民農園	農作物の栽培体験や農業に関する情報交換、交流を行う	さんさんの郷など市民農園で自然にふれあい農作物の栽培を行う	さんさんの郷	市民等	市民農園区画数433区画 利用区画数324区画	市民農園区画数433区画	
		38	農業体験学習への支援	農業体験学習推進の支援を行う	農業体験学習を推進する団体へ助成金等の支援を行う	産業振興課	農業団体	みよしの農業ふるさと活性化推進事業助成金を13団体に交付	みよしの農業ふるさと活性化推進事業助成金を22団体に交付予定	
	④食文化や郷土料理等の理解と継承	39	季節の料理作り	季節にそって食物の文化を学ぶ	時節に応じた調理実習を行い季節ごとの習慣や食材を学ぶ	・保育園 ・幼稚園	園児	・季節に応じて野菜や果物の収穫体験をした。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば、桃山、マーガレット) ・焼き芋会・餅つき会を実施した。(ベル三好) ・お月見団子づくり、ゴーヤ調理試食、餅つき会、柿狩りをした。(東山)	・季節に応じて野菜や果物の収穫体験をする。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば、桃山、マーガレット) ・焼き芋会・餅つき会を実施する。(ベル三好) ・お月見団子づくり、ゴーヤ調理試食、餅つき会、柿狩りをする。(東山)	
40		園だよりへの行事食の掲載	行事に沿った日本伝統料理を伝える	園便りにお正月や十五夜などの日本の伝統料理についてわかりやすく紹介する	保育園	園児と保護者	園だよりに十五夜などの日本の伝統料理について紹介した。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば、東山)	園だよりに十五夜や正月などの日本の伝統料理について紹介する。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば、東山)		
41		みよしの伝統料理教室	みよしの伝統料理を紹介し味わってもらい後世に伝える	とりめし、おこしもん、おせち料理などをJAあいち豊田ふれあいホール、小学校、明越会館等で調理実習し試食を行う	JAあいち豊田三好女性部	・市民 ・小学生	地元産の米、米粉を使って「地産地消」、後世に伝える「みよしの伝統料理」活動として、北中学校文化講座「おこしもん」「五平餅」づくりの講師として参加した。	地元産の米、米粉を使って「地産地消」、後世に伝える「みよしの伝統料理」活動として、中部小学校文化講座「おこしもんづくり」料理教室を実施する。		
42		学校給食における郷土料理の導入推進	ふるさとの味を知り伝統料理を継承する	地域に伝わる郷土料理を地元の農産物を使用して給食に提供する	学校給食センター	小中学生	みよし市の郷土料理を定期的実施し紹介のほか、各地の郷土料理を月1回実施。また、みよし市産柿をピューレに加工し、カレーライスなどに使用、年に2回柿ゼリーとして実施予定。	みよし市の郷土料理を定期的実施し紹介のほか、各地の郷土料理を月1回実施。また、みよし市産柿をピューレに加工し、カレーライスなどに使用、年に2回柿ゼリーとして実施予定。		
43		学校給食における日本食献立の取り入れ拡充	日本食の良さを見直し、バランスのとれた食事を提供する	地元産の米(大地の風)を週4回程度使用し、ごはんを中心とした献立を展開する	学校給食センター	小中学生	引き続きみよし市産の米(大地の風)を週4回程度使用し、大豆を中心とした豆類、ごぼう等の日本食の食材を使用。	引き続きみよし市産の米(大地の風)を週4回程度使用し、大豆を中心とした豆類、ごぼう等の日本食の食材を使用予定。		

基本目標	基本施策	連番	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	令和5(2023)年度実績	令和6(2024)年度計画	備考
		44	伝統料理レシピの紹介	郷土料理を広く伝承する	郷土料理レシピ本「伝えたいみよしの味」をホームページ等で紹介したり、料理講座を開催したりする	・生涯学習推進課 ・産業振興課 ・みよし悠学カレッジ食文化の会	市民等	・郷土料理を食育ホームページで公開した(産業振興課) ・生涯学習推進課ホームページ等でみよしの郷土料理調理本を案内した。(生涯学習推進課)	・郷土料理を食育ホームページで公開する(産業振興課) ・生涯学習推進課ホームページ等でみよしの郷土料理調理本の案内を継続して行う。(生涯学習推進課)	
	⑤食育を広めるための人材育成や関係者との連携強化	45	学校給食センター調理員、栄養士による学級訪問	生徒と調理員との会食を通して給食への関心や理解を深める	給食調理後、各学校へ出向き児童生徒と会食し、給食への思いを話し合う	学校給食センター	小中学生	全国学校給食週間(1/24~30)の間に、栄養教諭及び調理員が小中学校訪問した。(北部小、三好丘小、北中)	全国学校給食週間(1/24~30)の間に、栄養士及び調理員が小中学校訪問(中部小、天王小、緑丘小、三好丘中)	
46		食育だよりの発行	食育に関する情報を発信する	園児の各家庭に食育に係るたよりを発行する	・保育園 ・幼稚園	園児の保護者	・6・7・10~12・2月にPTA見学試食会を実施。広報で公募し13名の市民の施設見学と給食の試食を実施。 ・管理栄養士による食育だよりを毎月発行。(ベル三好) ・園だよりに給食だよりを発行した。(桃山)	・広報で公募し18名の市民の施設見学と給食の試食を実施予定引き続き見学の受入れをする。 ・管理栄養士による食育だよりを毎月発行する。(ベル三好) ・園だよりに給食だよりを発行する。(桃山)		
47		学校給食センター見学試食会	学校給食への関心と理解を深める	給食センターで給食ができるまでを見学し、その日に調理された給食を試食する	学校給食センター	・園児・小中学生の保護者 ・市民	6・7・10~12・2月にPTA見学試食会を実施。広報で公募し13名の市民の施設見学と給食の試食を実施。	広報で公募し18名の市民の施設見学と給食の試食を実施予定。引き続き見学の受入れをする。		
48		産業フェスタでの食育啓発	食育に関する情報提供や関係者の交流を図る	産業フェスタで食育コーナー設置し、食育に関する情報提供や交流を行う	産業振興課	市民等	産業フェスタで食生活診断を実施した。	1月開催の給食フェスタで食生活診断を実施予定。		
49		各食育関係団体への情報提供	各食育関係団体の活動を活性化する	各食育関係団体への食育に関する情報を提供する	産業振興課	各食育関係団体	各食育関係団体への情報提供を随時実施。	各食育関連団体への情報提供を随時実施。		
50		ホームページに献立掲載	食育に関する情報を提供する	献立表・食べ物カレンダー・アレルギー表・材料表をホームページに掲載し、情報提供を行う	学校給食センター	・園児・小中学生の保護者 ・市民等	小中学生の献立表・食べものカレンダー・アレルギー確認献立表・保育園用献立表をホームページに掲載。ホームページに給食レシピを掲載。	小中学生の献立表・食べものカレンダー・アレルギー表・材料表・保育園用献立表をホームページに掲載。献立表を保護者宛にきずなネットで配信。児童生徒には1人1台タブレット端末で配信。ホームページに給食レシピを掲載。		
51		保険健康課健診・相談・教育事業	食育に関する情報を提供する	食育啓発資材の配布や掲示を行う	保険健康課	市民等	健診受診者へリーフレットの配布を行った。	健診受診者へリーフレットの配布を行う。		
52		食育推進ボランティア研修交流会	食育推進活動を推進する	食育推進ボランティア、行政及び関係団体が食育について学び、交流を図る研修交流会を開催する	愛知県	・食育ボランティア ・県民	11/7に、「食文化継承」をテーマに、「地域でのお茶づくり」に関する講座を開催した。《参加者11名》	「食文化継承」「野菜摂取量増進」「食品ロスの啓発」をテーマにした研修交流会を開催する。		
	⑥食育に関する	53	あいちの味覚たっぷり！わが家の愛であ朝ごはんコンテスト	朝食の役割や大切さについて関心を高め、コンテストを通して家族や地域のコミュニケーションを図る	地元の食材や郷土料理を取り入れた、家族の愛を感じる朝食献立の募集・審査・表彰を行う	愛知県	小学生	10/22に「あいちの味覚たっぷり！わが家の愛であ朝ごはんコンテスト」を開催した。「地元の食材や郷土料理を取り入れた家族の愛を感じる愛であ朝ごはん」をテーマに254校、7,464点(内みよし市3校95点)の応募があった。	朝ごはんコンテストを実施する。	

基本目標	基本施策	連番	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	令和5(2023)年度実績	令和6(2024)年度計画	備考
	情報提供や普及啓発	54	広報による食育の啓発	食育の普及啓発を図る	広報を通して食育に関する情報を提供する	産業振興課	市民等	偶数月広報で「我が家de食育」を掲載し、食育に関する情報提供を行った。給食センター、学校教育課、市民病院、保険健康課、生活環境課の協力を得て実施。	偶数月広報で「我が家de食育」を掲載し、食育に関する情報提供を行った。給食センター、学校教育課、市民病院、保険健康課、生活環境課の協力を得て実施予定。	
		55	我が家の献立作り	食育の普及啓発を図る	広報を通して食育に関する情報を提供する	保険健康課	市民等	広報を通じて食育に関する情報を提供した。(R5.8月号)	広報を通じて食育に関する情報を提供する。(R6.8月号)	
		56	食育推進協力店の拡大	食品関係事業所との連携を図り食育を普及する	市内食品関連事業所に食育推進の協力を得て食育の啓発活動を行う	愛知県衣浦東部保健所	市民等	登録区分に応じて、飲食店における栄養成分表示や健康・食育に関する情報発信を行った。	飲食店等へ事業の普及啓発を行い、新規施設の登録や既登録施設への個別指導を行う。また、保健所ホームページ等で住民に向けた啓発を行う。	
		57	ホームページで食育推進	食育に関する情報を提供する	ホームページで食育に関する情報提供を行う	産業振興課	市民等	食育ホームページを年間6回更新し、食育に関する情報提供を実施	食育ホームページを年間5回更新し、食育に関する情報提供を実施	
		58	食育啓発資材の作成	食育の普及啓発をすすめる	横断幕、パンフレットなど啓発資材を作成し啓発する	産業振興課	市民等	懸垂幕を庁舎に提出し、6月の食育月間を啓発	懸垂幕を庁舎に提出し、6月の食育月間を啓発	
		59	食育推進活動に対する支援	食育推進への連携協力と支援を行う	食育推進活動を行う団体等に補助金等の支援を行う	産業振興課	農業団体等	農業団体、JA等の食育活動にみよしの農業ふろさと活性化推進協議会事業補助金で支援	農業団体、JA等の食育活動にみよしの農業ふろさと活性化推進協議会事業補助金で支援	
		60	食育に関する調査	食生活の実態を調査する	教育状況調査の中で食育に関する調査、健康みよし21の中で食育に関するアンケート調査、食育推進計画に関するアンケート調査を実施する	・小学校 ・保険健康課 ・産業振興課	市民等	第3次食育推進計画の基本目標別の取り組み状況に関する調査と、第4次食育推進計画策定時に取り組んでいる事業の調査を行った。(産業振興課)	第4次食育推進計画の基本目標別の取り組み状況に関する調査の実施。(産業振興課)	
2 (健康づくり) 食を通して、健康な体を育みま	① バランスの取れた規則正しい食生活の実践	61	給食献立から栄養指導	3色の食品群に興味をもたせる	給食の献立を紹介し、給食には何が入っているか3色に分類して確かめさせる	・保育園 ・幼稚園	園児	・毎日の給食を献立と一緒に展示、食前にメニューや食材の紹介した。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば、マーガレット) ・給食の時間に管理栄養士からランチタイムニュースを放送し栄養についての説明をし興味付けをしている。(ベル三好) ・年長児を対象に給食に入っていた食材をゲーム形式で3色に分類した。(ベル三好) ・毎月の献立にメニューや食材の紹介をした。絵本、紙芝居で興味付けをした。(桃山)	・毎日の給食を献立と一緒に展示、食前にメニューや食材の紹介する。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば、マーガレット) ・給食の時間に管理栄養士からランチタイムニュースを放送し栄養についての説明をし興味付けをする。(ベル三好) ・毎月の献立にメニューや食材の紹介をする。絵本、紙芝居で興味付けをする。(桃山)	
		62	園だよりへの食育記事の掲載、園児への食生活指導	・朝食を食べることの大切さを伝え、朝食の欠食者を減らす。 ・野菜が体の中でどのような働きをするのかを伝え、野菜を食べている人を増やす 3食の食品群について関心を高め、何をどれくらい食べれば良いか、知識を深める	園だよりを通じて食に興味を持たせる内容や、栄養に関する話、食事の適量、朝食摂取の大切さ、簡単に作れる朝食メニューなどを紹介する	幼稚園	園児と保護者	・園だよりで管理栄養士から食育だよりとして朝食の大切さの啓発。(ベル三好、桃山) ・園だよりやブログを通じて、伝統料理を紹介したり、季節の行事にまつわる料理についても紹介した。(東山)	・園だよりで管理栄養士から食育だよりとして朝食の大切さの啓発を行う。(ベル三好、桃山) ・園だよりやブログを通じて、伝統料理を紹介したり、季節の行事にまつわる料理についても紹介する。(東山)	

基本目標	基本施策	連番	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	令和5(2023)年度実績	令和6(2024)年度計画	備考
す		63	おやつに関する啓発	幼児期のおやつの適切な取り方について伝える	園だよりの中に食育だよりを掲載し、おやつは食事の一部だということを伝え、おやつのメニューを紹介したり、適量を伝える	幼稚園	園児と保護者	・園だよりで 管理栄養士から食育だよりとして、おやつを摂る事の目的や適量・メニューを啓発。(ベル三好、桃山) ・園だよりの中に食育だよりを掲載した。(マーガレット) ・給食だよりの中におやつのだよりを掲載した。(東山)	・園だよりで 管理栄養士から食育だよりとして、おやつを摂る事の目的や適量・メニューを啓発を行う。(ベル三好、桃山) ・園だよりの中に食育だよりを掲載する。(マーガレット) ・給食だよりの中におやつのだよりを掲載する。(東山)	
		64	家庭への献立表の配布	給食に対する興味・関心をもたせる	給食の献立表を各家庭に配布する	・保育園 ・幼稚園 ・小中学校	園児・小学生の保護者	・毎月給食の献立表を配布およびコードモンで配布した。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば) ・毎月給食の献立表を各家庭に配信、配布した。(マーガレット、東山、桃山)	・毎月給食の献立表を各家庭へコードモンで配信する。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば) ・毎月、給食の献立表を各家庭に配信、配布する。(マーガレット、東山、桃山)	
		65	保育参観での給食の紹介	給食に対する興味・関心を持たせる	保護者に給食の状況を見てもらい、毎月配布している献立表や成分表の内容を説明し、食に関心をもってもらおう	・保育園 ・幼稚園	園児の保護者	給食献立や実際の給食を事務室前などに掲示した。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば、マーガレット、東山、ベル三好)	・給食献立や実際の給食を事務室前などに掲示する。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば、マーガレット、東山、ベル三好) ・年長児の保護者を対象に 毎月の誕生日会の日に給食の状況を見てもらい、実食してもらおう。(ベル三好)	
		66	食に関する指導	食事の重要性や栄養バランス、食文化等についての理解を図り、健康で健全な食生活日関する知識や技術を身に付けるようにする	栄養教諭が主体となって授業を実施する	小中学校	小中学生	年間指導計画に位置づけて実施した。	年間指導計画に位置づけて実施する。	
	②望ましい食習慣を身に付け、生活習慣病を予防します	67	むし歯予防教室、わんぱく教室等	こどものむし歯を予防する	1・2歳児と保護者、保育園児、子育てサークル参加者、わくわくからだ探検隊(小学生)参加者を対象にむし歯予防に関する講話と歯みがき指導を行う	こども相談課	・1・2歳児と保護者 ・園児 ・小学生	むし歯予防教室(1歳児対象)を毎月1回実施し、100人参加。わんぱく教室(2歳児対象)を隔月に実施し、33人参加。	むし歯予防教室(1歳児対象)を毎月1回、わんぱく教室(2歳児対象)を隔月に実施。	
		68	園児への歯みがき指導	こどものむし歯を予防する	医師や歯科衛生士による歯科検診、歯みがき指導、虫歯予防に関する紙芝居を行う	・保育園 ・幼稚園 ・こども相談課	園児	・こども相談課歯科衛生士が園児の歯磨き指導の実施した。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば、マーガレット) ・保健師による六歳臼歯の話や歯磨き指導を実施。(ベル三好、桃山) ・絵本で歯磨き指導した。(東山)	・こども相談課歯科衛生士が園児の歯磨き指導の実施をする。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば、マーガレット) ・保健師による六歳臼歯の話や歯磨き指導を実施する。(ベル三好、桃山) ・絵本で歯磨き指導する。(東山)	
		69	健康診断、健康診査	こどもの肥満を予防する	乳幼児や園児、児童、生徒の健康診断等の結果により肥満予防の指導を行う	・保育園 ・幼稚園 ・小中学校 ・こども相談課	・乳幼児 ・園児 ・小中学生	・保護者に報告した。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば、マーガレット、桃山、東山、ベル三好) ・むし歯予防教室(1歳児対象)を毎月1回実施し、100人参加。わんぱく教室(2歳児対象)を隔月に実施し、33人参加。(こども相談課)	・保護者に報告する。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば、桃山、東山、ベル三好、マーガレット) ・毎月、身長・体重測定をし、アプリにてカウプ指数の表示を実施している。(マーガレット) ・むし歯予防教室(1歳児対象)を毎月1回、わんぱく教室(2歳児対象)を隔月に実施。(こども相談課)	

基本目標	基本施策	連番	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	令和5(2023)年度実績	令和6(2024)年度計画	備考
		70	個別懇談会の開催	食生活の実態を把握し改善する	園児の食事の様子を伝えたり、保護者からの相談にこたえ、食育についての情報を提供する	・保育園 ・幼稚園	園児の保護者	給食の様子等、日常的に保護者に伝えた。保護者の要望に応じ、食生活相談を実施し、アレルギー疾患生活管理指導票に基づきアレルギー対応を行った。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば、ベル三好、マーガレット、東山、桃山)	給食の様子等、日常的に保護者に伝えた。保護者の要望に応じ、食生活相談を実施し、アレルギー疾患生活管理指導票に基づきアレルギー対応を行う。(みどり、打越、城山、明知、すみれ、わかば、ベル三好、マーガレット、東山、桃山)	
		71	フッ化物洗口	こどものむし歯を予防する	小学校で希望者にフッ化物洗口を実施する	小学校	小学生	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	6月から希望者を対象に実施を再開する。	
		72	健康教育	歯の大切さと食生活の大切さの意識向上を図る	歯周病予防や摂食等に関する講話とブラッシング指導を行う	保険健康課	・教室受講者 ・老人クラブ等	随時、健康教室で講話やブラッシング指導を実施。	随時、健康教室で講話やブラッシング指導を実施。	
		73	健康診断にもとづく食生活の改善指導	生活習慣病を予防する	健康診断の結果に基づき病院の管理栄養士が食生活の改善を指導する	市民病院	健康診断受診者	健康診断結果に基づき、指導対象者に改善指導を実施	健康診断結果に基づき、指導対象者に改善指導を実施	
		74	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施(栄養に関する講座)	健康づくりや低栄養予防のために効果的な食事を知ってもらう	高齢者等が集まる通いの場で管理栄養士・保健師が栄養に関する健康講座を開催する	保険健康課	市民	高齢者等が集まる通いの場で管理栄養士・保健師が栄養に関する健康講座を開催した。	高齢者等が集まる通いの場で管理栄養士・保健師が栄養に関する健康講座を開催する。	R3から実施
		75	高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施(栄養に関する講座)	健康づくりや低栄養予防のために効果的な食事を知ってもらう	後期高齢者医療検診受診者の中で、BMIが20以下の者を抽出し、管理栄養士・保健師が、訪問または面接にて栄養に関する個別指導を実施する	保険健康課	後期高齢者医療健康診断を受信した者のうちBMIが20以下の者	後期高齢者医療検診受診者の中で、BMIが20以下の者を抽出し、訪問または面接にて栄養に関する個別指導を実施した。	後期高齢者医療検診受診者の中で、BMIが20以下の者を抽出し、訪問または面接にて栄養に関する個別指導を実施する。	R3から実施
	③食の安全について関心や知識の向上	76	食物アレルギーへの対応	アレルギーを有する園児、児童、生徒も安心して食事ができるようにする	アレルギー確認献立表を作成し、食物アレルギーの園児、児童、生徒に適切に対応する	学校給食センター	・園児 ・小中学生	アレルギーを持つ園児・児童生徒の保護者向けに毎月「アレルギー確認献立表」を配布し問い合わせには随時対応。	アレルギーを持つ園児・児童生徒の保護者向けに毎月「アレルギー確認献立表」を配布し問い合わせには随時対応。	
77		給食献立表に食の豆知識を掲載	食の安全に関する知識を高める	給食の献立表の中に食の安全に関する豆知識を掲載する	・保育園 ・小中学校 ・学校給食センター	小中学生	献立表に「今月の地場産物」を掲載し献立表をホームページにも掲載。	献立表に「今月の地場産物」を掲載し献立表をホームページにも掲載。		
78		食品表示制度の啓発	食の安全安心に関する知識と理解を深める	食品表示制度に関するパンフレットを配布する	・愛知県 ・産業振興課	市民等	食品表示法遵守状況調査を2店舗で実施した。必要に応じてパンフレットを使って食品表示制度について説明を行った。	食品表示法遵守状況調査を2店舗で実施する。必要に応じてパンフレットを使って食品表示制度について説明を行う。		

基本目標	基本施策	連番	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	令和5(2023)年度実績	令和6(2024)年度計画	備考
		79	食品衛生講習会	食の安全に関する意識を高める	食品衛生管理に関する講演・講習会を開催する	・愛知県衣浦東部保健所 ・商工会 ・食品衛生協会	食品衛生関係者	①7/12と10/18に食品業者向けの衛生講習会を開催(229名参加) ②10/11に衛生責任者養成講習会開催(45名参加)	①7月と10月に食品業者向けの衛生講習会開催 ②10月に衛生責任者養成講習会開催	
		80	摂取栄養量・栄養基準量の表示	栄養成分表示の関心を高める	献立表に月の平均栄養価や栄養基準量を掲載する	学校給食センター	小中学生の保護者	随時、GAP手法の指導、啓発を実施した。	随時、GAP手法の指導、啓発を実施する。	
		81	GAPの普及啓発	食の安全性を高める	農産物の生産においてより高い安全性等を確保するための工程管理であるGAP手法の普及啓発を行う	愛知県	農産物生産者	随時、GAP手法の指導、啓発を実施した。	随時、GAP手法の指導、啓発を実施する。	
		82	飲食店の栄養成分表示の推進	栄養成分表示の関心を高める	飲食店の料理メニューに栄養成分の表示を実施する	・愛知県衣浦東部保健所 ・商工会 ・産業振興課	飲食店他	食育推進協力店の栄養成分表示のお店において、栄養成分表示を行った。	飲食店等へ食育推進協力店登録事業の普及啓発を行い、新規施設の登録や既登録施設への個別指導を行う。	
		83	農林物資の食品表示表示基準遵守調査	食品表示法の規定に基づき定められている食品表示基準の順守状況を調査し表示の適正化を図る	管轄区域内の店舗や事業所を訪問し、食品表示法(品質事項)遵守状況調査を行う	愛知県	店舗・事業所	食品表示法遵守状況調査を2店舗で実施した。	食品表示法遵守状況調査を2店舗で実施する。	
		84	安心・安全な農作物提供への取組	食の安全性を高める	米・果実・野菜のトレーサビリティ、残留農薬検査、作業日誌の提供及び確認をする	J A あいち豊田	市民等	米・果実・野菜のトレーサビリティ、残留農薬検査、作業日誌の提供及び確認を実施した。令和6年度も引続き果実、野菜についてもJ A版GAPを実施し安全性の向上を図った。(営農センター)	米・果実・野菜のトレーサビリティ、残留農薬検査、作業日誌の提供及び確認を実施した。令和6年度も引続き果実、野菜についてもJ A版GAPを実施し安全性の向上を図った。(営農センター)	
		85	給食献立表を通して食育を推進する	給食で使われている食材や行事食などへの理解を深め、毎日食べている給食への興味関心を育む	献立表に「献立のワンポイント」と題し、関心や興味を深める食の豆知識を掲載する	学校給食センター	・小中学生 ・保護者	ホームページ、フェイスブック等SNSを通じてPRを行った。	ホームページ、フェイスブック等SNS、地産地消イベント等によりPRする。	
3 (環境づくり) 食に関する環境	①環境にやさしい食生活や活動の	86	みどり認定の推進	環境負荷を減らす農業を推進する	有機物の施用や化学肥料、化学合成農薬を減らす取組や、温室効果ガス排出量の削減等に取り組む農家を育成する	・愛知県 ・産業振興課	農産物生産者	随時、環境にやさしい農業に取り組む農家を支援した。 令和6(2024)年3月末現在で、認定者なし。	環境にやさしい農業に取り組む農家に対して認定を促進する。	
		87	「あいちエコ食スタイル 今日から始める20tips」の作成・配布	「環境に優しい食生活」を実践するための具体的なコツや豆知識、工夫を紹介し、無駄なく食べるコツを伝える	ホームページで情報発信、資料を配布する	愛知県	県民等	ホームページで情報発信、資料を配布した。	ホームページで情報発信、資料を配布する。	

基本目標	基本施策	連番	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	令和5(2023)年度実績	令和6(2024)年度計画	備考
①を 整えます	②地産地消の推進	88	フードドライブ	フードドライブ実施により食品ロス削減を推進する	イベント時に合わせてフードドライブを実施し、食品ロス削減を図るとともに広く周知を図る	生活環境課	市民等	令和5(2023)年10月の防災安全課開催のイベント「安全安心大作戦」に合わせてイオン三好店でフードドライブを実施した。 令和5(2023)年11月に産業フェスタに合わせてフードドライブを実施した。	産業フェスタなどのイベント時に合わせてフードドライブを実施する。(年2回)	H31から実施
		89	地産地消への支援	地産地消の推進を支援する	地産地消を推進する団体に補助金等の支援を行う	産業振興課	農業団体	農業団体、JA等の食育活動にみよしの農業ふろさと活性化推進協議会事業補助金で支援	農業団体、JA等の食育活動にみよしの農業ふろさと活性化推進協議会事業補助金で支援	
		90	みよし産農畜産物表示シールの配布	みよし産農畜産物のブランド化による消費の拡大や逸れに伴う生産者の意欲の向上を図る	みよし産農畜産物表示シールを窓口やイベント等で農家へ配布し、みよし産農畜産物やそれを利用した加工品に貼付してもらう	産業振興課	・生産者 ・加工製造者	みよし産農畜産物表示シールを窓口で農家へ配布し、みよし産農畜産物やそれを利用した加工品に添付してもらった。 (大サイズ3,230枚、小サイズ84,900枚配布)	みよし産農畜産物表示シールを窓口やイベント等で農家へ配布し、みよし産農畜産物やそれを利用した加工品に添付してもらう	
		91	みよし産果実の啓発	みよし産果実の消費拡大とPRを行う	みよし産果実の総称として「甘みよし」を出荷箱に明記する	・JAあいち豊田 ・産業振興課	市民等	「甘みよし」を出荷箱に明記し出荷を実施しPRを実施した。	令和6年度も引続き、みよし産果実の総称として「甘みよし」を出荷箱に明記及びリーフレットにてPRを実施。	
		92	地元農産物の販売	地元農産物の販売により地産地消を推進する	JAあいち豊田三好産直センター、グリーンステーション三好で地元農産物の販売やPRを行う	JAあいち豊田	市民等	市、グランパスとのコラボによりPRを実施した。 11/5みよし産業フェスタ参加した。	令和6年度も市・グランパスとのコラボ又産業フェア等により三好産農産物のPRの実施。	
		93	産直に関する研修会	地元農産物の生産販売を促進する	生産販売に必要な知識習得のための講習会の実施や先進地視察を実施する	JAあいち豊田産直部会	農産物生産者	2月春・夏野菜栽培講習会開催、講習会内で農薬適正使用研修も実施した。	6月土づくり講習会開催・2月春夏野菜講習会開催予定。	
		94	ぶらり・みよし軽トラ☆マルシェ	地元農産物の消費拡大とPRを行う	地元の新鮮な農産物を生産者自ら消費者に販売し、農産物の新たな魅力を知ってもらう	みよし軽トラ市実行委員会 緑と花のセンター	市民等	5/13(第1回)、6/10(第2回)、7/8(第3回)、9/9(第4回)、10/14(第5回)、11/18(第6回)、12/9(第7回)に実施し、野菜や果物を中心に、花苗、花卉、農産物の加工品、雑貨、布小物、パンなどの直売を実施予定	5/11(第1回)、6/8(第2回)、7/13(第3回)、9/14(第4回)、10/12(第5回)、11/9(第6回)、12/14(第7回)に実施し、野菜や果物を中心に、花苗、花卉、農産物の加工品、雑貨、布小物、パンなどの直売を実施予定	
		95	いいともあいち運動の推進	愛知県産農畜産物を生産・流通・消費する方々に会員となっただき、PR活動等により、愛知県の農林水産業を支える	ホームページ、フェイスブック、地産地象イベント等によりPRする	愛知県	県民	ホームページ、フェイスブック等SNSを通じてPRを行った。	ホームページ、フェイスブック等SNS、地産地消イベント等によりPRする。	
		96	産直マップの作成及び配布	特産品の柿・梨・ぶどうを始めとした農畜産物の認知度向上及び地産地消の推進を図る	産直マップを窓口や市内公共施設で配布する	産業振興課	市民等	産直マップを産業振興課の窓口や市内公共施設等で配布した。	産直マップを産業振興課の窓口や市内公共施設等で配布する。	H31から実施

■令和6（2024）年度食育推進事業評価表（追加）

基本目標	基本施策	連番	事業・活動名	目的	内容	実施主体等	対象	令和5（2023）年度実績	令和6（2024）年度計画	備考
1 人づくり	①食の正しい知識を身に付け、食に対する感謝の心を持つ豊かな人間性の育成	97	給食 de SDGsフェスタ	給食を実際に味わっていたくことを通じて、食の大切さやSDGsについて楽しく学ぶ機会を提供する。	給食の試食や、食育、食について学ぶことができるフェスタを開催する。	企画政策課	市民等		令和7（2025）年1月25日（土）に開催予定。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の提供 ・SDGsフォトコンテスト、給食オリジナルレシピコンテストの表彰式開催 ・食に関するパネル展示 ・食生活診断の実施 ・SDGs推進パートナーによる出展 	R6から実施